

議員定数削減、 一歩前進!!

北九州市議会の議員定数

「4区各1減」で合意

門司、小倉北、若松、八幡東 改革協で主要3会派

北九州市議会の主要4会派で議員定数などを検討する「議会改革協議会」が23日あり、自民、民主・社民系のハートフル北九州、公明の3会派は、門司、小倉北、若松、八幡東の各区の定数を1ずつ削減することで合意した。3会派で同市議会の過半数を占めており、定数は61から4削減さ

れ57になることが事実上、決まった。

今後、各会派の代表者でつくる「代表者会議」で、削減の可否などを最終的に話し合うが、実施時期は次回選挙（2017年）、次々回選挙（21年）とするかは未定。そこまで詰まれば、6月の市議会定例会に条例改正案が提案されるとい

同協議会によると、3会

派は市議会に六つある常任委員会を構成するのに必要な議員数を最低54人と算出した上で、区ごとに議員1人当たりの人口を計算。格差が最小になるよう、4区から1ずつ減らす結論に達したという。

西日本新聞 平成27年3月24日

で主要4会派のうち共産は「市政には解決すべき課題が多いのに、議員が減れば民意を吸い上げる機会が減る」として、現状維持案を主張した。

(井崎圭)



2年半前に皆様のご協力で最低必要数 16,000 筆の3倍にあたる約 48,000 筆の議員定数削減の署名が集まり議員定数削減の直接請求を行いました。議会では 60 対 1 で否決されましたが、新しい任期で再度検討されることになりました。

今任期中で主要4会派による議会改革協議会で議員定数削減について協議され、平成27年3月23日に最終提案として共産党を除く自民党、ハートフル北九州、公明党の3会派は議員定数を現状の61を57に4減するという内容を主要4会派の代表者会議に報告されました。

今後は4減する条例を次の6月議会で議員提出議案として上程する方向で動いていくことになると思います。

約48,000人の署名にご協力いただいた皆様、署名を重く受け止め真摯に協議していただいた各会派の議員の皆さんに心より感謝申し上げます。



中村 義雄 議員 再質問

議会改革協議会協議結果

自民党、ハートフル、公明党の3会派は、平成24年の議員定数削減を求める直接請求に約48,000人の署名が集まったこと、ピーク時に約107万人だった人口が現在、約96万人と大幅に減少し、今後も減少が続くと予測されること、議員1人あたりの人口を他指定都市と比較すると効率化の余地があることなどから、常任委員会が機能する最低議員数54人（6常任委員会×9人）を下回らないこと、かつ、最小区の議員定数が4人を下回らないことを条件に議員定数を削減すべきであるとの意見でした。

その上で、平成22年の国勢調査の結果を基に各区の議員定数のバランスを考慮すると、最小の戸畑区の議員定数が4人を維持できるのは56人以上であること、最大区の八幡西区の議員定数が増えないのは58人以下であること、2番目に大きな小倉南区の議員定数が増えないのは57人以下であること、区間で生じる議員1人あたり人口の最大格差が議員定数57～59人の場合で最小になることから、本市の議員定数は57人が最適であるとの意見でした。この場合、門司区、小倉北区、若松区、八幡東区の4区で各1減となります。

一方、共産党は、高齢化が進み、低所得者の多い本市においては、解決すべき課題と吸い上げなければならない民意が多く、現時点では61人を維持すべきであること、ただし、今後は人口の増減に応じて議員定数を見直す仕組みを検討する必要があること、また、議員定数削減の直接請求については、議会が何をしているか分からないことが原因だと思われるため、常任委員会の活性化や議事録の作成、公開を始めとした議会の見える化など議会改革を進めていくことが重要であるとの意見でした。

各区定数と議員1人あたり人口の最大格差（議員定数54人～61人）

	現行	61人		60人		59人		58人		57人		56人		55人		54人	
		定数	増減	定数	増減	定数	増減	定数	増減	定数	増減	定数	増減	定数	増減	定数	増減
門司区	7	7		7		6	-1	6	-1	6	-1	6	-1	6	-1	6	-1
小倉北区	12	11	-1	11	-1	11	-1	11	-1	11	-1	10	-2	10	-2	10	-2
小倉南区	12	13	1	13	1	13	1	13	1	12		12		12		12	
若松区	6	5	-1	5	-1	5	-1	5	-1	5	-1	5	-1	5	-1	5	-1
八幡東区	5	5		4	-1	4	-1	4	-1	4	-1	4	-1	4	-1	4	-1
八幡西区	15	16	1	16	1	16	1	15		15		15		15		14	-1
戸畑区	4	4		4		4		4		4		4		3	-1	3	-1
議員一人 あたり人口の 最大格差	1.261	1.186		1.203		1.166		1.166		1.166		1.182		1.205		1.205	

平成22年国勢調査の確定値を基に試算。

会派内での役割が替わります。3月議会で一般質問を行いました。

議会では2年ごとに役職変更や常任委員会変更があります。3月より下記の通り変更となりました。

- ① 議会運営委員に就任。議会が円滑に運営できるように会派間の調整を行います。
- ② 常任委員会は4年ぶりに保健病院委員会になりました。保健福祉局、子ども家庭局、病院局を所管します。医療・福祉・介護を所管する私の専門分野です。

地域コミュニティーについて自治連合会長やまちづくり協議会会長の経験をもとに質問しました。子どもの見守り、自然災害時の対応、認知症対策に地域コミュニティーは不可欠であることや福祉避難所等の災害弱者対策について現場からの意見や提言を行いました。

